



ハヤブサ

ニュース No.6 2

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

日米合同軍事演習弾劾！ 6/22 京丹後・米軍基地前抗議！

池田 たかね



さる 6 月下旬から、米陸軍と陸上自衛隊による合同演習「オリエント・シールド 21」、全国 7 箇所で、過去最大規模の動員で

実施されました。

同時にこの演習の一環として、6 月 25 日から 7 月 2 日にかけて、京丹後・宇川の米軍 X バンドレーダー基地・および航空自衛隊経ヶ岬分屯基地でも日米両軍による「共同基地警護訓練」が実施されました。

米陸軍のフェイスブック・ページには、自衛隊の隊舎の屋上から外に向けて銃を構える自衛隊や、「侵入者」を補足する訓練の様子など、生々しい写真が掲載されています。

今回の演習は京丹後に駐留する米軍部隊（約 10 人）と福知山の陸上自衛隊（約 90 人）に加えて、米本土から「米陸軍第 8 憲兵旅団」（約 20 人）が初めて参加しています。

基地建設の計画が浮上した当初、基地ができれば「標的」になるのではないかとという住民の不安に、近畿中部防衛局は「そんなことはない」と言い切っていました。

しかし、京丹後・宇川での日米合同軍事演習は年を追うごとに強化され、今回は在外部隊の参加によって、さらにグレードアップしています。このことは、米軍・防衛省がどんなことを言っていたとしても、いったん基地ができてしまえば、それに付随した軍事態勢の強化がどんどん行われていくことを示しています。それに対する抗議と反撃が必要です。

京都連絡会では京丹後での合同演習の開始に先立つ 6 月 22 日に行った前回の現地訪問の際に、京丹後市役所前でのアピール行動に加えて、米軍基地・自衛隊基地のゲート前で日米合同軍事演習の実施に反対する抗議のシュプレヒコールをあげました。

7 月の京丹後訪問のご案内

7 月 16 日（金）* 集合は午前 8 時 30 分

集合場所 五条大橋西詰のガソリンスタンド前
（最寄り駅は京阪清水五条）です。

参加される方は

- ① 真夏日の行動ですから水分補給他防護の用意をお願いします。
- ② 事前に連絡をお願いします。

連絡先 池田 090-7108-5508

速報 不当判決糾弾！ 中沢

武委員長に不当判決！ ストライキで懲役3年!?



公園からはみ出して抗議する参加者 約 400 人

7 月 13 日、関生弾圧事件の武委員長に対する判決があった。大阪地裁（佐藤卓生裁判長）は、懲役 3 年、執行猶予 5 年の有罪不当判決を下した。怒りを持って糾弾！ 詳細は「会報」次号

6・27 あいば野集会開催

駒井高之



住吉公園に結集した近畿の仲間たち

6月27日、高島市今津町住吉公園で「先制攻撃の日米合同軍事演習反対！憲法改悪阻止！6・27あいば野集会が開催され、近畿各地から約100人が参加しました。

「フォーラム平和関西ブロック」と「2021あいば野に平和を！近畿ネットワーク」の共催で開かれました。

「近畿ネットワーク」野坂昭生代表は「6月23日、あいば野演習場からの120ミリ迫撃砲が1発が境界を越え1キロ離れた木をえぐった。市民はまたかと、恐れおののいている。日米合同軍事演習を即刻中止せよ。」とあいさつ。

京丹后市議の永井友昭さんは「重要土地利用規制法は、毎日Xバンド基地を視察に行きながらブログにアップしている私を不当逮捕する法律だ。」と訴えました。集会後、高島市内をデモ行進しました。

老朽原発うごかすな！ 6.23美浜現地緊急全国集会と 7.3大飯原発3号機再稼働阻止の 闘いの報告

瀧川



関電と政府は、2011年5月以来10年停止していた危険極まりない美浜3号機を再稼働させました。

特重施設の完成が設置期限の10月25日に間に合わず、わずか3ヶ月しか営業運転できない美浜3号機を無理矢理再稼働させる暴挙を行いました。全国で初の40年超え老朽原発の再稼働となったのです。

6月23日、40年超え老朽原発の再稼働に抗議して全国から集まった350人は美浜町にある関西電力原子力事業本部前にデモで押しかけ抗議・申し入れ行動を行い、美浜町内をデモ行進し抗議アピールを行いました。その後、美浜原発を目の前にするシーパーク丹生での抗議集会では、地元福井の皆さんや福島、東京、伊方、大阪、京都、兵庫、奈良などから廃炉を求める怒りのアピールが続きました。美浜原発前を通る1.5キロの抗議デモでは老朽原発を再稼働させた関電・政府を糾弾するシュプレヒコールが叫び続けられました。

また、これに先立つ6月21日には美浜原発3号機運転差し止めを求める仮処分が大阪地裁に申請されました。福井、滋賀、京都の住民9名が申請したもので、弁護団は井戸謙一氏、河合弘之氏など、全国で原発全廃を求めて闘う11名の弁護士で構成されています。仮処分申請の内容は、地震によって重大事故を起こしかねない美浜3号機の危険性および美浜3号機が重大事故を起こしたとき住民避難は不可能であることの2点です。

7月3日、大飯原発3号機が再稼働されました。昨年7月20日から定期点検で運転を停止していましたが、原子炉圧力容器と蒸気発生器を繋ぐ配管などに損傷が見つかったため運転停止が長期化していました。この再稼働にたいし、老朽原発うごかすな！実行委員会が緊急に呼びかけた抗議行動には60名が参加し、デモ行進と同原発前での抗議申し入れ行動がおこなわれました。申入れ内容は、蒸気発生器周辺の配管に傷が見つかったことや設置許可取り消し判決、使用済み核燃料の問題などを理由に、全原発の即時停止と廃炉を求める内容です。

関電に高浜1.2号機の当面の再稼働を断念させ、美浜3号機の再稼働を5ヶ月も遅れさせたのは、圧倒的な脱原発の民意に支えられた脱原発運動の成果といっても過言ではありません。もっと大きな行動を展開すれば、老朽原発を廃炉に追い込むことができます。みんなで頑張りましょう。

コロナ禍で大衆運動が委縮する中、琉球大学助教授・亀山統一氏を講師に招いて円山野外音楽堂に260人の参加で開催された。

集会実行委員会の奥村一夫さんは「亀山先生の講演は、沖縄の島の成り立ち、気候、植生、サンゴの働きなどから米軍基地の異常さに結びつけられた話しは、大変わかりやすくかつ驚くべきものでした」と評しています。別な人々からは「亀山さんの話は沖縄の現実に向き合っていない」という厳しい意見もありました。

当日、集会実行委員会を代表して大湾が主催者挨拶をした要旨を採録して報告とします。

沖縄を取り巻く情勢

沖縄は今、基地被害で苦しめられています。

有毒なPFOS、PFOAなど有機フッ素化合物の基地外への漏洩、市井への飛散、河川、地下水や井戸への浸透、早朝夜間の爆音、低空飛行による市街戦訓練。土地規制法は私権と人権の制限だけでなく社会権を制限する究極の治安立法等々、沖縄は基地被害の脅威と闘っています。

現在、日本政府は、世界的にも希少種なサンゴや生き物などの生態系が豊富に残る辺野古崎と大浦湾を埋め立ててオスプレイやF35B、強襲揚陸艦などを備えた自衛隊海外派兵の前進基地として辺野古新基地建設を強行しています。

日本政府の「辺野古が唯一」という国策に沖縄県民は、辺野古に新基地作る合意をした日米両政府のSACO合意以来25年間、各種選挙で、名護市民投票や二度の県民投票で、そして何度も繰り返された県民大会で「辺野古新基地建設は認めない」と民意を示してきた。

しかもこの間、明らかになっていることは埋立地に辺野古活断層が二本、さらに埋立地全体の1/3が超軟弱地盤であり、大浦湾に軍事基地は作れない、また作ってはならないと科学的に警告されています。それでも政府は、活断層に耐える強固な基地を作ると粋がり、軟弱地盤埋め立てに沖縄戦で亡くなった人々の遺骨が未だ残る南部戦跡の土砂を投入せんとしている。世界中のどこでこんなことがまかり通るだろうか。沖縄防衛局の軟弱地盤埋め立て設計変更を断じて認めない声を上げ続けよう。

この差別的で傲慢で暴虐な日本政府の政治の根拠は何なのか？ それは圧倒的な数の、あな

たを含めた「日本国民」が後ろ盾になっているからだ。沖縄への国策差別の主犯は日本政府だが自民や公明、維新、財界や右翼的な人々だけが「共犯者」だろうか？ 圧倒的な「日本国民」が沖縄差別を見て見ぬふり、見過ごし許している、そうした暗黙の支持がなければ「右翼的」な人たちだけの後押しだけなら日本政府もここまで傲慢なことはやりきれまい。

政府と国民の共犯関係の根は深い

この日本政府の沖縄の民意を無視した沖縄差別は今に始まったことではない。

近代日本は、朝鮮半島、台湾、アイヌそして琉球(沖縄)への帝国主義的侵略と武力併合、同化政策を強制し、搾取と収奪を行ってきた。

敗戦後、日本政府は、朝鮮、台湾、アイヌ、そして沖縄の人々にこれら過去の「侵略と併合、同化政策」に対して誤りを認めず、だから謝罪もせず、保証も償いもしていない。日本国民もこれを追認してきた、同罪である。

世界の人々は誤りを認め悔い改め前進している

2020年5月、ロイド・ジョージを圧死させた「白人警官」に対する抗議から始まったBlack lives Matter運動は、1960年～70年代の黒人差別撤廃運動を更に前に進め、奴隷制度、近代帝国主義的侵略・植民地主義批判とその清算に向けて前進している。加害者の警官には禁固22年6か月の判決が言い渡された。

Black lives Matter運動は、アメリカで奴隷制を擁護したリー南軍司令官の像だけでなく、リンカーンやワシントンも奴隷擁護主義者として告発された。米中西部イリノイ州エバンストンの市議会が黒人差別を制度化した過去の住宅関連条例で損害を被った(黒人の)住民や子孫に賠償金を支払うことを賛成多数で可決した。

イギリスで奴隷商人コルストンの像が引き倒された。イギリスの植民地だったカナダでは、原住民モホーク族を強制的に同化させる過程でカナダ政府とカソリック教会が原住民の子どもたちを大量虐殺し、そのことを示す「集団墓地」を証拠に抗議した原住民は、ビクトリアとエリザベス両女王の像を引き倒した。カナダ首相とローマ法王が謝罪した。ベルギーではフィリップ国王がレオポルド2世の時代に行われたコンゴ人民に対する奴隷制を謝罪した。オランダ・アムステルダム市では、ハルセマ市長が7月1日、過去の植民地時代に行われた奴隷貿易について、市が「積極的に関与した」と謝罪した。

Black lives Mattar 運動は「誤りを悔い改め謝罪し補償する」ことを引き出しつつ前進している。

Myanmar の人々は、2月1日の国軍によるク・デター以後、全人民的不服従運動と労働者・学生・市民による武装民兵の組織化で国軍と闘い、少数民族を含む連邦制国家を目指している。

とりわけ国家・国民から排除・差別されてきたイスラム系少数民族ロヒンギャに対して人口の70%を占める支配民族のビルマ人の中からロヒンギャに対する過去の差別と国軍によるロヒンギャ弾圧を黙認してきたことの誤りを認め、謝罪し、少数民族にも平等に自治を保障する連邦制国家建設を共に進める呼びかけがなされ、ロヒンギャもこれに応じている。

Black lives Mattar 運動や Myanmar の人々の闘いから学ぼう。過去の誤りを認め謝罪する、こんな当たり前のことが日本では政府も国民も実行されていない。「反省の哲学」こそ前進の武器となっている。当面する闘いで沖縄の人々と連帯しつつ、停滞する京都での沖縄闘争を前に進めるために、近・現代史における日本政府が国策として進めた沖縄差別に「共犯者」として加担してきた「日本人」としての過ちを認め、謝罪し、連帯することで償いを果たしていこう。

京都連絡会 8月例会

日時 8月26日(木) 18:30
会場 ひとまち交流会館 第三会議室
講師 服部恭子さん(京都ユニオン書記長)
非正規雇用労働者の現状と闘いの組織化
(搾取に抗する賃金闘争と産別労組の組織化の展望)

企画のお知らせ

7/18 近畿連絡会総決起集会

日時 2021年7月18日(日)13:30 開始
場所 京都府部落解放センター
1年間の映像・永井さんの報告・各府県からのアピール 集会後でもあり
参加費 500.-

【北上田毅さん講演会】

辺野古新基地建設事業の現状と問題点



日時 2021年7月17日(土) 18:30~21:00
場所 京都府部落解放センター(北区烏丸紫明)
No Base!沖縄とつながる会他諸団体共催

「街なかピラ」の報告と 今後のお知らせ

第121回 6月15日(火) JR二条駅周辺 7人

- 「心配せんでも戦争なんか起こらへん」
- 「自分の国を自分で守れへんから、米軍歓迎や」

参加者の感想：◇生協前は受け取りが良い。

◇中国脅威論が行き渡っている感じ。

◇共産党と間違われることが多い。



第122回 6月28日(月) 烏丸北大路周辺 4人

- 「基地は必要やで」
- 「(基地のこと)知ってる」という人、3人。
- 「場所は分かるけど、基地のことは知らない」

参加者の感想：

◇人通りが少ない方が受け取って貰い易い

◇一人で歩いている学生は受け取るが、連れ立って歩いていると受け取って貰えない。

今後の予定(時間は11:00~12:00)

第123回 7月15日(木) 百万遍 周辺
集合場所：百万遍交差点の北西角です。

第124回 7月27日(火)(伏) 藤ノ森 周辺
集合場所：京阪「藤ノ森」駅 北出口

※ハヤブサ6月号での予告を変更しています。
ご都合の付く方は集合場所にお集まりください。

連絡先：090 - 5672 - 1597 (白井)